※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	「探求　言語文化　改訂版」（桐原書店）						
副教材等	「わかる・読める・解ける　key point 古文単語 330　四訂版」（いいずな書店） 「論理的に考える　LT 古文　LT1　大学入試共通テスト対応版」（浜島書店） 「古典常識も学べる新明説総合古典文法」（尚文出版株式会社） 「古典常識も学べる新明説総合古典文法ノート」（尚文出版株式会社） 「必携新明説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～　改訂版」（尚文出版株式会社） 「必携新明説漢文シリーズ　基本練習ノート　改訂版」（尚文出版株式会社） 「プレミアムカラー国語便覧　改訂版」（数研出版株式会社） 「完成日本文学史ノート　三訂増補版」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語のきまりを理解する。 ［教材］ 検非違使忠明のこと	a：言葉のまとまりを的確に押さえて、歴史的仮名遣いに注意しながら正しく音読している。 b[読]：脚注を参照しながら、登場人物の行動と話の展開を理解している。 c：範読を参考にして、積極的に音読している。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	訓読のきまりを理解し、文章の内容を的確に読み取る。 ［教材］ 漢文を学習するということ／漢文の基礎	a：送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 b[書]：訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 c：　返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	随筆に表れた作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ［教材］ 徒然草[丹波に出雲といふ所あり]	a：重要古語の意味を理解している。 b[読]：[丹波に出雲といふ所あり]聖海上人の描写に基づき、作者の上人に対する考えを的確に捉えている。 c：重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。 ［教材］ 推敲	a：漢文に特有の語や、否定形の句形について、その読みと意味を理解している。 b[読]：　漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 c：　範読を参考にして、積極的に音読している。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	随筆に表れた作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ［教材］ 枕草子[ありがたきもの]	a：清少納言と「枕草子」について、文学史的知識を身につけている。 b[書]：[ありがたきもの]作者の「ありがたきもの」の共通点を理解したうえで、現代の視点から新たな「ありがたきもの」を書いている。 c：各自で書いた「ありがたきもの」を互いに読み合い、表現の工夫を学ぼうとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	話の構成や展開を確かめ、寓話の内容や表現の仕方について理解する。 ［教材］ 朝三暮四	a：漢文に特有の語や、疑問形の基本的な句形について、その読みと意味を理解している。 b[読]：「芧」の分配のしかたによって「衆狙」が怒ったり喜んだりした理由を理解している。 c：「朝三暮四」という言葉の意味と由来について積極的に調べている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	小説に描かれた登場人物の感じ方や生き方などを、話の展開に注意して読み取る。 ［教材］ 羅生門　芥川龍之介	a：芥川龍之介の他の作品を読むなどして、作者への理解を深めている。 b[読]：下人の心理と行動の変化を的確に読み取っている。 c：下人の生き方から、人間の生き方への認識を深めようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ［教材］ 土佐日記[門出]	a：月の異名、時刻の表し方、門出や方違への習慣など、古典常識について理解している。 b[書]：[門出]旅立ちにあたっての事の次第や女性仮託の理由を理解したうえで、その特色を活かした表現で自分の身の回りの出来事を書いている。 c：紀貫之と「土佐日記」について、文学史的事項を調べたり発表したりしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※令和４年度以降入学生用

前期	話の構成や展開を確かめ、寓話の内容や表現の仕方について理解する。 ［教材］ 塞翁馬	a：漢文に特有の語や、反語形・否定形の句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 b[書]：塞翁の考え方を的確に理解し、その考え方を現代の世界においてどのように生かすことができるか、具体例を挙げながら文章にまとめている。 c：「塞翁が馬」「蛇足」「登竜門」「画竜点睛」「杞憂」の意味と由来を漢和辞典で調べ、故事成語への理解を深めている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ［教材］ 土佐日記［帰京］	a：紀貫之と「土佐日記」について、文学史的知識を身につけている。 b[読]：［帰京］帰京による喜びと落胆の交錯、亡児への愛惜を的確に捉えている。 c：古典に関する知識について関心を持って調べ、本文に表現された世界を深く理解しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
後期	物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 ［教材］ 伊勢物語［芥川］	a：「伊勢物語」について、文学史的知識を身につけている。 b[読]「男」の心理の推移の描写を丁寧にたどり、その心情を口語自由詩の形式で表現している。 c：重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	史話に描かれた情景や人物の心情などを、表現に即して読み味わう。 ［教材］ 鶏口牛後	a：漢文に特有の語や、使役形・比較形・選択形の句形について、その読みと意味を理解している。 b[読]：遊説家蘇秦の行動と弁舌に注意して内容を読み取り、合従策について理解している。 c：戦国時代の国家間の関係や、合従策に対する連衡策について調べている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 ［教材］ 伊勢物語 ［東下り］	a：歌物語における和歌の役割を理解している。 b[読]：「男」の心理の推移を旅の進行に対応させて理解し、その心情を工夫しながら日記として表現している。 c：周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	漢詩のきまりと表現の特色について学び、唐詩の世界に親しむ。 ［教材］ 五言絶句／七言絶句 ［絶句］［送元二使安西］	a：各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 b[読]：［絶句］異境の地にある作者の望郷の思いを読み取っている。［送元二使安西］旅立つ友人に対する惜別の情を的確に捉えている。 c：押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	小説を通じて人間や生の意味・意義を考える。 ［教材］ 猿が島　太宰治	a：作品における語りの特徴など、表現の意味や効果について理解している。 b[読]：作品に込められた寓意やテーマについて考察している。 c：太宰治とその作品について知っていることを発表し、教材への関心を高めている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 ［教材］ 伊勢物語 ［筒井筒］	a：和歌の修辞技法（序詞・掛詞・縁語・折り句）を理解している。 b[読]：段落ごとに「男」「女」「河内の女」の様子や心情を読み取り、人物描写の違いについて考えを述べている。 c：「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※令和４年度以降入学生用

後期	古代中国の思想について理解を深め、ものの見方、考え方を豊かにする。 ［教材］ 論語	a:孔子と「論語」について、基本的な知識を持っている。 b[読]:各章の内容を踏まえ、孔子の理想としていた学問のあり方について考察している。 c:孔子の人物像や「論語」の内容・構成について関心を持ち、調べている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 ［教材］ 伊勢物語 ［梓弓］	a:「伊勢物語」について、文学史的知識を身につけている。 b[読]:「女」の行動から心情を的確に読み取り、その心情に寄り添った言葉を手紙の形式で表現している。 c:歌物語の系統を引く作品に関心を持ち、調べたり読んだりしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況
	漢詩のきまりと表現の特色について学び、唐詩の世界に親しむ。 ［教材］ 五言律詩／七言律詩 ［送友人］ ［八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九］	a:それぞれの詩の対句表現について、何と何が対照されているか、正確に理解している。 b[読]:［送友人］はるか遠方へ旅立つ友人を送る惜別の情を的確に捉えている。［八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九］左遷された親友の健康を気遣う気持ちを的確に捉えている。 c:作者の生涯について調べ、詩の内容への理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 授業参加の状況

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間